

|
(木)

イエスの招き

マタイによる福音書一章20〜30節

すべて重荷を負って苦勞している者は、私のもとに來なさい。
あなたがたを休ませてあげよう。(28)

主イエスがこの言葉を語られたときの民衆は、律法学者やファリサイ派の人たちによって、守りきることでできない律法の重荷を負わされ、疲れ果てていました。人々にとり、ファリサイ派の人たちの教えは何の救いも与えてくれず、重荷でしかありませんでした。人々は自らの罪の重荷にさらに律法の重荷を加えられ、「どうせ私は神に見放された人間だ」と絶望するしかなかったのです。このよう
な人々に対して、主イエスは「私のもとに來なさい」と言われました。イエスのもとにこそ、罪と死の重荷からの解放があります。主イエスは私たちの罪の重荷を負って十字架へと登られたからです。十字架において罪と死の問題を解決してくださった主イエスのもとに、私たちは安心して全ての重荷を下ろすことができ
るのです。主イエスは今日も、「私のもとに來なさい」と招いておられます。